

深い学びを実現する理科学習

—知識を関連付けて、
様々な場面や文脈で考える単元構成を通して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 理数・自然科学系（理科）

小出 竜也

これからの時代を担う子どもには、学んだことをただ再生するだけの知識ではなく、学んだときとは違った場面や文脈にも対応できる知識を身に付けさせることが求められている。そのためにも、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したりする深い学びを実現することが必要不可欠であると考えます。

本研究では、深い学びを実現するために、概念地図を使って、子どもがもっている知識や学習して得られる知識を関連付けられるようにした。また、「5E指導モデル」の考え方を基にした単元構成を行った。「5E指導モデル」とは、子どもの深い理解をもたらす、科学的な概念を構成する指導方略である。子どもに様々な場面や文脈で考えさせることで、知識がそれぞれの場面や文脈とつながり、より理解を深められるようにした。

本研究によって、概念地図によって子どもの知識を関連付けたり、様々な場面や文脈で考える単元構成によって子どもの理解を深めたりすることは、深い学びの実現に有効であることが分かった。